

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：公民館と子どもたち〕

- ・子ども菜園づくり事業……北九州市立陣山市民センター
 - ・次代を担う子どもたちを地域で育てよう
…………糸島市立桜野公民館
 - ・「子どもと地域の行事を結ぶ公民館活動」
……上原々（かんばらばら）公民館
 - ・英語であそぼう ……………添田町中央公民館
- こちら県公連
- ・平成23年度福岡県公民館大会の報告

平成23年11月 公民館情報通巻121号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

シリーズ：公民館と子どもたち



「年賀の集い」・・・女子中学3年生の巫女さん 上原々（かんばらばら）公民館

子ども菜園づくり事業

北九州市立陣山市民センター

〈地域の概要〉

陣山地域は、八幡東西区の境に位置し、4月は「さくら」、5月は「つつじ」そして、6月は陣山の花「あじさい」があじさいロードに咲きほこり、四季折々に訪れる人の心を癒し、街中のオアシス的存在になっている。

人口は約8,500人、高齢化率は28.7%、0歳から14歳までの年少人口は10.3%で、高齢化が進んだ地域といえる。



〈子ども菜園づくりの概要〉

センターの裏庭で一年間を通し、子ども達が自らの手で土作りや苗植えなどの菜園体験を実施する。その中で地域の方との交流を深め「食育」や「環境」を学ぶ。

子ども達ができる範囲で協力し、土と自然にふれあう楽しい菜園づくりに挑戦できたらとの強い思いで始まり、総勢56名で毎月第2・4土曜日に活動している。



☆みんなで協力してじゃがいも掘り!!



☆家から持ち寄った生ごみ投入!!

- | | | | |
|-----|---------|------------|-----|
| 第1回 | 6/11(土) | 子ども菜園入所式 | 53名 |
| 第2回 | 6/25(土) | コンポストで堆肥作り | 45名 |
| 第3回 | 7/9(土) | 収穫祭とカレー作り | 49名 |
| 第4回 | 7/23(土) | 土づくり・経過観察 | 28名 |
| 第6回 | 8/27(土) | 子ども菜園交流 | 37名 |

*第5回 8/6(土)・第7回 9/3(土)
腐葉土ボックス ペンキ塗り 雨のため中止

◎ 今後の予定

冬・春野菜の種まきと苗植え

文化祭において、収穫した野菜で豚汁を作りふるまう 等



〈成果と課題〉

心配をよそに予想を超える応募者があった。低学年の子どもたちが多く大変さもあるが、ボランティアと保護者を含め20名近くの若いお母さんが子どもたちと一緒に参加している。この菜園づくりを機に絆を深め、仲間づくりのきっかけの場とし、地域の人材育成にもつなげていきたい。

一年で終わることなく、今後も子どもたちの体験活動の場、学びの場、地域交流を深める場として実施していきたい。



陣山市民センター

北九州市八幡東区桃園3丁目1-1

TEL・FAX 093-661-1657

次代を担う子どもたちを地域で育てよう

糸島市立桜野公民館

桜野校区は、糸島市の北東部に位置し農業・漁業が共存、恵まれた自然環境に囲まれた地域です。世帯数926世帯、人口2,743人で、このうち児童数は134人。高齢化率約28%で少子高齢化が進んでいます。

公民館では、子どもと地域をつなぐ拠点として各種団体や学校と連携しながら、校区全体が子どもたちの居場所となるようさまざまな事業に取り組んでいます。

.....子どもの力で地域を元気にする「公民館主催講座」.....



そうめん流しを楽しむ子どもたち

子どもと高齢者の交流として「イモ掘り」や「もちつき」を実施。高齢者にとっては生きがいとなり、子どもたちにとっては高齢者の経験と知恵を知る機会となります。

また、女性グループと一緒に「そうめん流し」や九州大学生を講師に「親子科学実験教室」なども行っています。子どもが来ればその親や祖父母も公民館に足を運ぶようになり、子どもたちの元気な姿は地域住民にもパワーを与え、地域の教育力向上につながっています。

.....家庭から離れ共同生活を行う「2泊3日の通学合宿」.....



包丁の使い方を習います

1年～6年生の異年齢集団による共同生活を行い、公民館から小学校に通う「通学合宿」を平成12年から実施しています。

2泊3日の集団生活を通して、親への感謝や自立心を養います。子ども達にとっては“親離れ”体験となり、期間中のお世話は、実行委員や地域のボランティアが行います。この通学合宿では、子ども達が協力することや我慢すること、感謝することを身に付けられるように取り組んでいます。

.....興味を広げ、ワクワクできる！居心地のいい居場所づくり「桜野アンビシャス広場」.....

『ただいま！』、子どもの声がひびく開設5年目のアンビシャス広場は、公民館に行けば楽しい、をモットーに毎週火曜日と土曜日の週2回活動しています。

広場では、地元の達人に講師を依頼して、四季折々の行事や、郷土の良さを体感する内容をおし郷土愛を育みます。

また、子どもたちが自主的に考えて行動できるように、遊具・図書などをそろえ、想像力を発揮できる場としての環境づくりを大事にしています。



見て！僕が七夕かざり？

『子どもは地域の宝』です。住民が通学路の見守りや防犯パトロールなど安心安全にも取り組み、地域のなかで子どもを見守り、支え、子どもの成長を考えています。

問合せ先 糸島市立桜野公民館 電話 092-327-0259

「子どもと地域の行事を結ぶ公民館活動」～上原々公民館～

筑後市の中心部から北に広がる上原々地区は、国道 209 号線沿いに位置し、商工業と農業が盛んな住宅地で、旧薩摩街道が縦断しています。上原々公民館は、熊野神社境内にあり、デイサービスや子どもに対する支援活動を中心に、公民館活動が活発に行われています。

特に、子どもに対する支援については、学校週 5 日制が導入された後、公民館活動の一環として、子ども会と一緒に活動できるものを検討し、共催することとなりました。

その中のいくつかの事業を紹介します。まず、「サツマ芋植え」ですが、子どもが 100 名、保護者が 50 名、運営委員が 25 名参加して、芋苗 1300 本を 6 月の土曜日に植えています。11 月の収穫祭まで、草取り等は子ども会が主となり行っています。収穫祭では、石焼き芋が振る舞われ、文化祭では、収穫した芋を「石焼き芋」にして販売し、運営資金の一部としています。また、以前は文化祭に出品する作品は、大人ばかりでしたが、子ども会全員の作品を展示したところ、参加者も増え、映画の上映会やバザーもあり好評でした。

次に、「地蔵盆花火大会」ですが、地蔵菩薩の縁日が毎年旧暦の 7 月 24 日に開催され、子どもの守り仏として古くから信仰されていました。子どもたちが病気をしないように石の地蔵さんをきれいにして、花を供えて祀る風習があり、小屋を掃除したり、前掛けをつけ替えたりします。夜には「親子ふれあい花火大会」を行い、保護者や公民館の運営委員の皆さんが最後にナイアガラ花火に点火して盛り上がります。

最後に、「年賀の集い」ですが、元旦の午前 9 時から正午まで、「町民の親睦と住みよい町づくり」を目的に行います。当日は、町内の女子中学 3 年生が、巫女に扮してお神酒を献酌します。福引き大会でも活躍し、参加者の皆さんを喜ばせ年賀の集いは終了します。この巫女さんになった女子中学生は、希望の高校に合格した人が多いそうです。

このように、上原々公民館では、学校 5 日制をきっかけに様々な事業を行ってきました。館長さんや町民のみなさんの思いがひとつになり、試行錯誤を重ねながら現在に至っています。今後も、子どもたちに対する支援をさらに充実させるため、日々、努力されています。



問い合わせ先 上原々(かんばらばら)公民館 (野間口康夫 館長 TEL0942-52-8267)
筑後市中央公民館 庶務係 TEL 0942-53-2178 FAX 0942-53-4216

英語であそぼう

添田町中央公民館講座

「グッドモーニング!」「ハロー!」

土曜日の13時になると、いつもは静かな公民館のロビーに子どもたちの声が響きます。

今日は子どもたちが楽しみにしている、レオ先生と遊ぶ日です。

日本に来て2年目、添田町に住み日本語がようやく少し理解できるようになったレオ先生。

片言の英語と、身振り手振りでコミュニケーションをとる子どもたち。

遊びながら、英語を身近に感じられるようにと始めた教室です。

今では、名札もすぐに探し出せるようになりました。



レオ先生



アヒルはDからはじまる
んだっけ……??

レオ先生の掛け声に合わせて
ゲーム開始!
全身を使って表現しよう!!

添田町には4つの公立公民館がありますが、子どもたちが利用する機会はあまり多くありません。そこで、今年から小学校で外国語活動が始まることをきっかけに、いつでも気軽に子どもたちが公民館に立ち寄れるようにと始めたのが、「英語で遊ぼう」です。

子どもたちは、「英語で遊ぼうで知ったことばを習ったよ」と報告してくれます。レオ先生の楽しい講座、大好きです。

平成23年度 英語であそぼう	
期 日	平成23年9月3日(土)～12月17日(土) 毎月 第1・第3 土曜日 13:30～
開催場所	添田町中央公民館
主 催	添田町教育委員会
講 師	マルチネス ラファエロ レオナルド
対 象 者	町内小学生
参加費	無 料
問い合わせ先	添田町中央公民館 (TEL0947-82-0616 FAX0947-82-0616)

第56回福岡県公民館大会報告

第56回福岡県公民館大会が、平成23年8月4日（木）、行橋市民体育館におきまして、県内各地から公民館に関わっている854名の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。

近年、核家族化や都市化の進展とともに、地域コミュニティが希薄化していると言われています。

しかし、今回の大震災で、私たちは地域コミュニティの大切さ、日

本人の連帯感や絆の強さを改めて実感しました。また、人々が幸福に暮らす上で、住民がお互いに協力し助け合う温かい地域社会を日ごろからつくっていくことの大切さを改めて考えさせられました。

こうした地域活動の拠点が公民館であり、地域づくりの核となるこれからの公民館のあり方について探求し、以て公民館活動の一層の充実・発展に資することを趣旨として、本大会を実施しました。

大会式典の表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった24名の公民館役職員の方々と、公民館運営並びに事業の優秀な1館の公民館に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けられた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。



開会行事の様子



表彰式の様子①



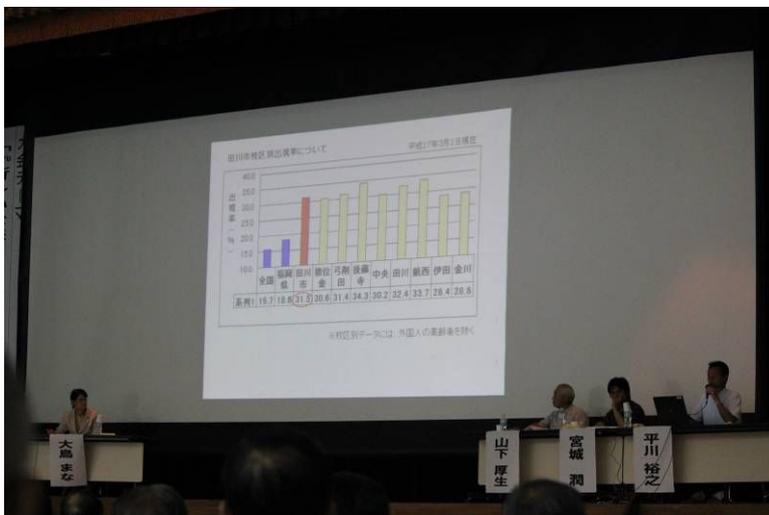
表彰式の様子②

「新しい公共とこれからの公民館」と題して、沖縄県NPO法人地域サポートわかさ理事長の早川忠光氏に講演をしていただきました。まちづくりのためにNPOを立ち上げて公民館の業務一部委託を受け、様々な事業展開の紹介や災害時の対応等、実践事例を中心にお話いただき、大変参考になりました。



講演（早川氏）の様子

また、「これからの公民館運営と役割」と題して、九州女子大学准教授の大島まな氏をコーディネーターとして、①北九州市立大学非常勤講師の山下厚生氏、②沖縄県NPO法人地域サポートわかさ理事の宮城潤氏、③田川市教育委員会生涯学習課長の平川裕之氏に御登壇いただき、シンポジウムを行いました。①市民センターへの移行、②NPOとしての業務一部委託、③教育委員会と部局との連携、という立場から御発言いただき、今後の公民館運営と役割に活かしていける内容となりました。



シンポジウムの様子

本大会を開催するに当たり、行橋市をはじめ、京築地区の皆様のご尽力により成功裡に終えることができました。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等も十分参考にさせていただきます、さらなる大会運営の改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御尽力いただきますよう、よろしくお祈いします。